

夕張市議会だより

2013年8月1日

第21号

議会運営委員会

平成25年第2回定例市議会

第2回定例市議会は、平成25年6月12日から20日までの9日間を会期として開催されました。

付議されたものは、議案10件・諮問1件・報告9件に加え、追加議案3件・報告1件の審議を行い、すべて原案通り可決いたしました。

議案

- ◎ 夕張市財政再生計画の変更について
- ◎ 財産の取得について
- ◎ 夕張市税条例の一部改正について
- ◎ 夕張市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
- ◎ 夕張市国民健康保険条例の一部改正について
- ◎ 夕張市生活館等設置条例の一部改正について
- ◎ 夕張市郷土文化施設設置条例の制定について
- ◎ 夕張市観光施設設置条

報告

- ◎ 平成24年度夕張市一般会計繰越明許費繰越額の報告について
- ◎ 平成24年度夕張市土地開発公社事業報告及び決算報告について
- ◎ 専決処分報告について（2件・いずれも損害賠償額の決定）
- ◎ 定期監査の結果について（2件）
- ◎ 例月現金出納検査の結果について（2月～4月）

諮問

- ◎ 例の一部改正について
- ◎ 夕張市石炭博物館設置条例の廃止について
- ◎ 平成25年度夕張市一般会計補正予算（追加）
- ◎ 夕張市医療費給付に関する条例の一部改正について（追加）
- ◎ 和解について（追加）
- ◎ 人権擁護委員候補者の推薦について

大綱質問の 内容と答弁

小林尚文議員質問

環太平洋経済連携協定（TPP）について

■質問

（1）夕張メロンを始め特産品への影響をどのように考えるか

《質問趣旨》

・7月に交渉参加する見込みだが、現時点での農業に与える影響は関税の撤廃により大きなものと考えている。特に北海道への影響は関連産業も含め計り知れない。

本市農協の平成25年度の総会において、TPP交渉参加に断固反対並びに北海道農業確立に関する特別決議を行っている。

夕張メロンへの直接的な影響は少ないと考えるが、二次的な影響はあると考えているので、関係者との情報共有を図り、夕張農業のあり方も十分協議していくことが必要と考えるが市長の考えは。

・政府は食料輸出を1兆円規模に増やすプランを示しているが、夕張メロンの輸

出の可能性について市長の考えは。



■答弁

・TPP交渉参加による農業への影響は、農林水産物の生産額が約3兆円減少する。本市のメロンは差別化ができ、関税も低率で直接的な影響はない。米については1千万円減少すると考える。

また、メロンの産地間競争が激化するなどの影響も考えられることから、国の農業政策の動向を注視し夕張市農協との情報共有に努める。

・夕張メロンの輸出の可能性については、昨年の1月にカタル国が東日本大震災復興支援のため夕張市を訪れた際、夕張メロンに高い関心を示された。また、

ご意見・ご感想を
お寄せください

夕張市議会事務局
本町4丁目市役所内
電話 4頁に記載

■編集委員

委員長 司子彦文二
委員 厚谷桂達尚修
委員 長谷田林山
委員 熊島小大
委員 長員員
委員 副委員長
委員 委員

夕張市議会では議会の活動を多くの市民の皆様にお伝えするために、「議会だより」を発行しています。また、市役所本庁・南支所及びふれあいサロンにも配布しております。

本年6月5日にカタル大使館の特命全權大使と面会し、王族の方に夕張メロンを味わっていただきたく、輸出に向けた条件整備について協力をお願いした。

夕張市農協や関係機関と連携しながら仕組みづくりに協力したい。

高間澄子議員質問

市民の健康と医療費について

■質問

(1) 健康の推進と予防医療について

(2) 医療費の削減について

《質問趣旨》

・市民の健康を守るためには、特定健診やがん検診をしつかり受けていただくことが重要であると考えている。

そこで各検診の受診率の現状・受診率の向上にむけた取り組みについて伺う。

あわせて、高血圧や糖尿病、心疾患、脳梗塞などの生活習慣病の発症を予防するための取り組みについても伺いたい。

・夕張市国民健康保険の健全な経営のために医療費の削減は大きなテーマと考え

る。現状、夕張市国保加入者の医療費の動向はどのようになっているのか伺う。その上で、医療費削減のための具体的な取り組みについて、また医療費を抑える手段の一つとしてジェネリック医薬品の活用が挙げられるが、市として推奨などしているのかをお伺いしたい。



■答弁

(1) 予防、早期発見、早期治療、重症化予防を推進するため、40歳から74歳の国保の被保険者には特定健診、後期高齢者医療の被保険者には、基本検診を実施しているが、受診率は17%となっているが、目標の65%を下回っている。

また、各種がん検診を实

施しているが、受診率は胃がん13%、肺がん14%、大腸がん16%、乳がん24%、子宮がん22%と目標の50%を下回っている状況にある。

受診率向上に向けて特定健診の受診料の無料化、健康ポイントカードの発行、がん検診の無料クーポン券の発行など、また生活習慣の改善に向けた特定保健指導の実施や健康講座、貯筋体操の開催に取り組んでいる。

(2) 診療に係る国保加入者一人当たりの医療給付額は33万9千円と、全道平均値の27万4千円を大きく超えており、こうした医療費の状況に鑑み、「医療費適正化推進計画」を策定し取り組んでいる。ジェネリック医薬品の使用促進については、チラシ配布及び希望カードの交付、ジェネリック医薬品を使用した場合の差額通知の実施をしており、今後も継続した啓発の取り組みを行なう。

教育問題について

■質問

(1) 北海道教育委員会が策定する公立高等学校配置計画案に対する本市の考え方

について

《質問趣旨》

・今後の北海道立夕張高等学校の配置計画案に対する夕張市の対応についてお伺いしたい。

■答弁

・公立高等学校配置計画案によると、平成26年度入学の夕張高等学校1年生の間口は1学級であり、想定される夕張中学校卒業生も前年度より減少し大変厳しい状況にあると考えられる。

当市として、学校関係者、有識者で「高等学校対策委員会」を設置し協議を行っている。道教委からは今後想定される新しい高校のスタイルである「地域キャンパス校」について説明



を受けた。遠隔授業、出張授業の対応がなされるとはいえ、科目数は限られる。対策委員会での協議内容を踏まえ、道教委に対しての要請行動についても考えてまいりたい。

熊谷桂子議員質問

自然・再生可能エネルギーの利活用について

■質問

(1) 市内の自然エネルギーの利活用・雇用の拡大について

■答弁

(1) 地元の公益法人によって、旧学校施設で雪冷熱・地下水を利用して野菜栽培を行う事業、また、地元の建設業者において、社光地区のズリを火力発電用の燃料炭として採取・売却する事業がスタートした。地域資源の利活用・雇用の拡大も期待されている。豊かな資源を活かしたまちづくりを進める本市としても、民間事業者への支援を引き続き行っていきたい。

炭層メタンガス(CBM)が豊富に埋蔵されており、事業化に向けて国に、民間事業者

への開発支援の要請をしたい。
《要望》
道の助成金などを積極的
に活用して一層の推進を

生活弱者への 対応について

■質問

(1) 生活保護の現状と制度
改悪・入学準備金・滞納に
ついて

(2) 介護保険の現状と課題
について

(3) 市営住宅で、加齢や疾
病により階段の昇降が困難な
入居者の1階への移転につ
いて

(4) 鹿の谷公衆トイレの通
年開設について



■答弁

(1) 生保受給者について、
道内他市との比較では、中核

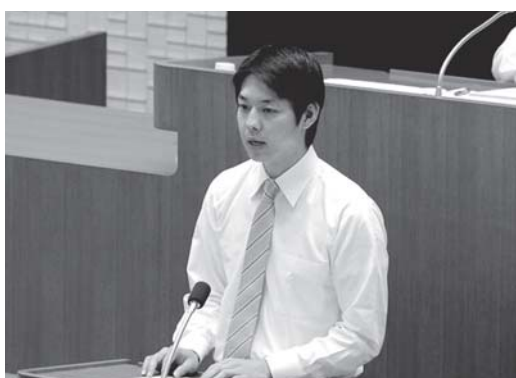
市を除くと、全道平均で人口
の約2.7%、本市は約2.9
%と若干上回っているが、
道内他市の高齢者世帯は、
42.8%であり、本市におい
ては56.1%となっている。

8月からの制度改定にお
いては、3年程度かけて激
変緩和措置。口頭による保
護申請も、懇切丁寧に対応
するほか、相談窓口には専
任の相談員を配置し、相談体
制の強化を図るとともに、
財政再生団体でも常に相談
者の側に立ち、丁寧な援助を
心掛け社会のセーフティネ
ットとしての機能と役割に
ついてしっかりと果たす。

・入学準備金(小・中学)に
ついては、これまで3月に支
給していたが、(小学校の卒
業式に中学校の制服を着用
など)入学準備に一定時間必
要ということを受け、支給日
の前倒しを含め検討する。
・また、生保受給期間は、
滞納について処分の執行停
止を行っている。

(2) 介護保険認定率は、平
成24年12月末で21.9%。
全国・北海道の率よりも高
くなっている。利用率は
80.2%(暫定値)。全国
よりは低い、北海道より

若干高くなり、利用の促進
が図られている。介護保険
料は基本額が4542円
で、ほぼ全道平均並。病氣
などで収入が著しく減少し
たときは減免ができる。(生
活保護基準の1.1倍以下
で80~90%、1.3倍以下
で60~70%以内で減免。)市
役所窓口相談を。



また、課題としては、

① 介護予防サービスの利
用促進(対象となる高齢者
全員に、介護予防の啓蒙を
行った。「必要を感じてい
ない」との回答が多く、介護
予防をさらに促進したい。
② 介護が必要な高齢者を
把握し、介護につなげる事
(町内会や民生委員と連携
し、介護保険制度やサービ

スの周知に努める。

③ 継続的・一体的なサー
ビス(病院・施設からの在
宅復帰、在宅生活をより長
期間継続させるためにも、
医療や介護・福祉事業者と
の連携が必要。より一層の
連携強化が図られるよう、
支援してまいりたい。

(3) 市営住宅での移転は認
められないが、例外とし
て、「病気や加齢により階
段の昇降ができない」医師
の診断書で転居を認めてい
る。地区を限定しなければ
入居は可能な状況であり、事
例があれば住宅課へ相談を。

(4) 冬期間は凍結防止など
の光熱費がかさみ、利用者も
少ないので通年開設は困難。
《要望》

JRを使って通学通勤の
交通弱者への対応を考え、
JRとの協議や、幸福のハ
ンカチ基金等を利用するこ
とも検討し改善を。

厚谷司議員質問

今年度の国・北海道及
び夕張市の三者協議に
ついて

■質問

(1) 第2回目となる三者協

議に臨む市長の基本的な姿
勢について

(2) 課題整理の進ちよく状
況・今後のスケジュールに
ついて

(3) 国・北海道に要望して
いる期間短縮の意味につ
いて再度、市民と共有する必
要があるのではないかと



■答弁

(1) 昨年の三者協議は財政
再生団体の課題を現地で実
務者が把握することに成果
があった。地域再生に重要
な課題についてしっかりと
対応していきたい。

(2) 現在取りまとめを行っ
ているところ。引き続き課
題整理は市が主体的に行
い、6月中旬に議会と協議
し、同時に国・道と協議し

ていきたい。

また三者協議の日程については、8月上旬から中旬に行う予定。

(3) 3月に総務大臣と会談した際、財政規律は維持という発言もあったが、一方総務省の後押し発言もあった。

昨年の三者協議以降、様々な場面でできるだけ早く脱却したいということは訴えてきている。産炭地特有の課題もあるが、実務的に整理し、その特殊性も訴えていきたい。

指定管理者により運営が行われている集会施設の今後のあり方について

■質問

(1) 平成24年度の三者協議では、継続協議となっていたが、今年度協議に臨むにあたっての課題は何か。

(2) 特に「必要な維持管理費の支出の検討」とは、どのような範囲で想定しているのか。

(3) 廃止施設の今後の取り扱いについての考え方は

■答弁

(1) 具体的内容については現在検討中であるが、収入

減・維持管理費の増を始めとする諸課題及び、地域コミュニティの維持における役割は三者共通の認識にある。

これらの課題を踏まえ、その存続のためにどうすべきか検討していく。

(2) 施設によっては老朽化による維持管理費の増嵩もあり、管理運営費を軽減することが可能な施設投資を検討したい。

(3) 集会施設に限らず廃止の公共施設は平成22年度に策定した、夕張市市有財産活用基本方針に基づき、売却・譲渡・貸付により施設の有効活用を図りたい。

議会事務局の電話番号は

52-3172

です。なお、事務局職員が不在となることがありますので、その際は、恐れ入りますが、市役所代表電話

52-3131

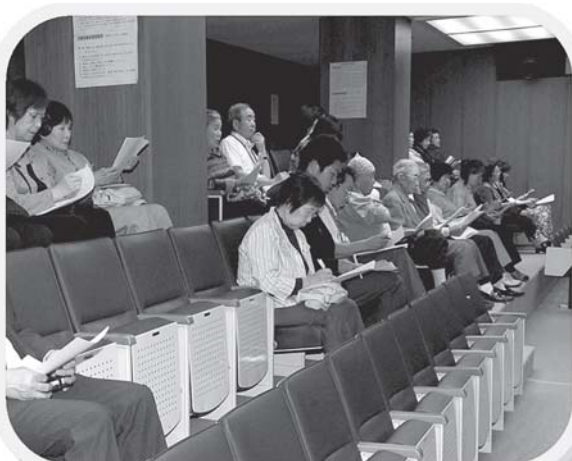
までお願いいたします。

夜間議会を開催しました

今定例市議会第二日目6月13日は、開会時刻を午後6時30分とし、夜間議会として開催しました。

大勢の市民の皆様が傍聴にお越しくださいました。心から感謝申し上げます。

本年4月1日から施行となった「夕張市議会基本条例」では、より開かれた議会と市民参加を基軸に据えており、通常の開会時間では勤務等の都合により傍聴することができない市民の皆様にも、傍聴していただけるよう夜間議会の開催を義務付けしております。



市民の皆様との意見交換会を実施



し、市民との意見交換会を開催しました。

意見交換会では夕張市議会基本条例についての説明を行い、その後参加者と意見交換を行っております。

■皆様からのご意見

・現状、議案（本会議・常任委員会とも）は閲覧形式だが、傍聴者に配布して頂くことはできないものか。

また詳細な説明資料があると議論の内容がわかりやすい。

・未活用となっている廃校の活用見込みは。

・意見交換会への参加が困難な状況（高齢化や交通事情など）が出てきているのではないかと。開催方法についても検討願いたい。

・議会基本条例については施行前に住民との意見交換が必要だったのではないかと。

・定数9名という中で会派は必要なのか

・夕張再生に向けた各議員の考え・スタンスは。

・道道（長沼線・岩見沢線）の整備促進をうなどのご意見を頂いたところです。